

産学公連携コーディネータのご紹介

交流連携室の産学公連携事業では、コーディネータが企業の技術課題に対して日本の中で最も適した大学・研究機関を探索し、契約締結のお手伝いをしています。連携先が有する新たなシーズの導入により、今までにない斬新な新製品が生まれる可能性があります。お気軽にご相談下さい。以下に5人のコーディネータを紹介します。

西が丘本部				墨田支所
(03) 3909-2452				(03) 3624-3731
火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	火曜日
電機・電子	機械・金属	情報・通信、 サービス業	化学・バイオ	環境・リサイクル・繊維
産学公コーディネータ室 相談無料(事前予約制)				開設時間: 午後1時～3時

<田中 敬三>



西が丘本部:火曜日
電機・電子分野担当

(株)日立製作所での半導体材料の分析・開発、工場プロセスでの不良解析、改善に従事した後、米国での人工知能の研究を経て、情報システムの開発に携わってきました(日立製作所、コンピュータ総合開発研究所出向、日立計測器サービス)。理研でのバイオインフォマティクスの手伝いを機に、IT会社を設立、更にIT、半導体センサー、分析技術のコンサルティングを主とするデザインラボ(有)を立上げ、現在に至っています。

課題を持たれている方が、「誰に何をどう相談してよいのか解らない」という段階でも、遠慮なくご相談下さい。産技研の研究者の方々と相談しながら、皆様の問題解決への道筋を整理するコンサルティングを行い、具体的な解決へ協力して頂ける研究者、或いは大学の先生とのコーディネートを行います。産技研研究者および大学の先生方のご協力を得ながら、皆様の仕事に寄与していきたく考えています。

<仁平 宣弘>



西が丘本部:水曜日
機械・金属分野担当

産技研在職中は一貫して鉄鋼材料およびその熱処理・表面処理に関する研究・指導を行っていました。昨年4月に仁平技術士事務所を開設し、現在は、技術コンサルタントとして企業における技術開発の推進、技術的支援、若手技術者の育成、などの活動をしています。

熱処理の中でもとくに金型の熱処理に興味を持ち、金型の寿命向上・高品質化を目指して1981年にイオンプレーティングによる硬質膜(TiN、TiC等)の応用、1986年にダイヤモンド状カーボン膜(DLC膜)の応用に関する研究で、他公設試に先駆けて国庫補助事業による開発研究を手がけました。

ものづくりの基本は材料、この材料の特性を生かすのが熱処理、さらに付加価値を与えるのが表面処理。大学や研究所はこれらシーズの宝の山、現在まで培ってきた技術のノウハウと人脈を活用し、大学や研究所との橋渡しを行います。課題解決の近道としてぜひご相談ください。

<佐藤 康生>



西が丘本部:木曜日
情報・通信分野、サービス業分野
担当

三菱電機(株)、菱光コンピュータシステム(株)では、製造現場のものづくり、設計から製造までの業務の情報システム化による改善合理化及び情報サービス会社の経営に携わりました。現在はリンフォス経営システム研究所を経営し、会社経営の革新、ITによる業務革新等をテーマとしております。

情報通信分野の相談内容としては、新構想キーボード、大学教務システム、屋外映像システム、データマイニング、コミュニティビジネス、心理分析ソフト、アクセスログ解析、水質監視システム、難読辞書ソフト、英語eラーニングなど様々なものがあります。

中小企業の産学公連携の成功のためには、中期的視点に立ち、自社の強みを活かす事業戦略上の位置づけを明確にすること、技術開発面とともに顧客は誰か、他との差別点は何でどう活かすのか、などの事業開発面を合わせて検討することが必要と考えます。このような面を含めてご支援させていただきます。

<枝村 一弥>



西が丘本部:金曜日
化学・バイオ分野担当

協和発酵工業(株)、外資系企業等の研究開発を経て、現在、(有)新技術マネージメントを経営し、国内外企業へのECF技術のライセンス供与業務や、新技術・新製品の研究開発・コンサルタント業務を推進中です。元山梨大学客員教授、元(財)宇宙環境利用推進センター客員研究員。現在は、成蹊大

学非常勤講師、東京工業大学特別研究員(No.7)としても活動しています。

電界と化学物性(電界によりジェット噴流を発現するECF)や、機械機構と流体物性(電界下に見かけの粘度が変わる電気レオロジー流体)等の、研究開発・特許出願・学会/論文発表に多くの実績があります。皆様からのご相談をお待ちしております。

<加藤 陽一>



墨田支所:火曜日
環境・リサイクル・繊維分野担当

旧都立繊維工業試験場(産業技術研究センターの前身)のデザイン部長、旧産業技術研究所ニットグループ長等を経て、現在、産技研のエンジニアリングアドバイザー。さらに、ISO 14001環境主任審査員、ISO 9001品質審査員として審査や内部監査員等の育成などの活動や、技術的テーマの課題や問題の解決のための指導講師等も行っています。

主に、繊維技術、生産機械の制御技術、アプリケーションソフトの開発、平面デザインの視覚化と立体表示技術などの研究開発、リサイクル技術、環境への対応技術などについて大学等と連携して研究開発し、業界等に普及・展開しています。また、統計的なデータ処理や実験計画法、多変量解析など従来は困難・難解であった品質管理や実験計画について、対話型による処理と解析プログラム等を開発し学会、業界等に普及してきました。

大学の研究成果やノウハウを積極的に活用したい皆様のご利用をお待ちしています。

問い合わせ先

西が丘本部 事業化支援部 交流連携室
TEL 03-3909-2151(代)